

特攻の史実を

後世に残す^⑬

知覧特攻平和会館では、「知覧からの手紙」（知覧特攻遺書）を、平和を願い、知覧から世界へ語り継ぐため、ユネスコ世界記憶遺産登録を目指しています。

初めてお母さんと呼べた最期の手紙

相花 信夫 少尉

出身地 宮城県大崎市
第77振武隊（享年18歳）

相花信夫少尉は、継母に育てられました。この継母は、実母以上に良くしてくれていたのに、お母さんと恥ずかしくて最後まで言えませんでした。それがずっと心残りだったのだと思います。ですが、いざ特攻で出撃すると決まったら、この気持ちだけ

は母に伝えておきたいということでした。書かれたのがこの手紙です。この手紙を受け取られたお母さんは、原本を形見として大事に持っておられました。77歳で亡くなりま



母を慕ひて
母さんお元気ですか
永い間本當に有難うございました
「我六歳の時より育て下されし母
継母とは言へ世の此の種の女にある如き」
不詳事は一度たりとてなく
慈しみ育て下されし母
有難い母 尊い母
俺は幸福だった
遂に最後迄「お母さん」と
呼ばざりし俺幾度か思ひ切つて呼ばんとした
が何と意志薄弱な俺だったろう
母さんお許し下さい
さぞ淋しかったでせう
今こそ大聲で呼ばして頂きます
お母さん お母さん お母さんと。

〔南九州市青少年健全育成キャッチフレーズ〕

あいさつ・声かけで育む青少年健全育成・安心安全な地域づくり

「青少年育成の日」 毎月第3土曜日

子ども会活動など地域の特性を生かした活動への参加・支援に努めましょう。



“仏壇の技「時絵」に挑戦”
（ふるさと体験学級茶レンジ隊）

「家庭の日」 毎月第3日曜日

「家庭の日」には家族みんなでの話し合いや、親子のふれあいに努めましょう。

「共通実践事項」

○気持ちのよいあいさつと返事をしよう！ ○地域の行事に参加しよう！ ○家の手伝いや読書しよう！